

癌化学療法約束処方 子頸6

癌種 進行再発子宮頸がん
登録No. 子頸6 Pem+TC+Bev

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投薬期間	休薬期間	1クール期間
キイトルーダ	ペンブロリズマブ	PEMBRO	200mg/body	div	DAY 1	20日	21日
パクリタキセル	パクリタキセル	PTX	175 mg/m ²				
カルボプラチン	カルボプラチン	CBDCA	AUC 5				
アバスチン	ベバシズマブ	Bev	15mg/kg				

【DAY 1】

- ① NS 50 ml / 5分 ☆イメンド125mg内服、レスタミン50mg内服
- ② NS 100 ml + キイトルーダ 200 mg / 30分 ☆フィルター使用
- ③ NS 50 ml / 5分
- ④ NS 50 ml + デキサート 1.5V + グラニセトロン 1A + ファモチジン 1A / 15分
- ⑤ 5%Tz 500 ml + パクリタキセル mg / 3hr ☆フィルター使用
投与速度: 投与開始後15分間 90ml/hr 以降 180ml/hr
- ⑥ 5%Tz 250 ml + カルボプラチン mg / 30分
- ⑦ NS 50 ml / 5分
- ⑧ NS 100ml + アバスチン mg / （1コース目90分、2コース目60分、3コース目以降30分）
- ⑨ NS 50 ml / 5分

【備考】

Pem+TC+Bevは6サイクルを目安に、Pem単剤は最大35サイクルまで 主治医判断によりBevまたはPEMBROをON、OFFする(2024.12.16Dr奥田)
イメンド day1:125mg、day2～:80mg内服
デカドロン錠 day2,3:1回4mg 朝昼食後内服

【アバスチンの中止基準】

- ①Grade2以上の高血圧(収縮期血圧>150mmHgまたは拡張期血圧>90mmHg):薬物治療を開始しコントロール可能となるまで休薬。
G4未満の臨床症状を有する高血圧が、1週間以上継続する場合はアバスチンを中止。
- ②Grade3の蛋白尿:G2以下(UPC比<3.5)に回復するまで休薬。
尿タンパクによる休薬が2ヶ月を超えた場合はアバスチンを中止。

【休薬基準】

・好中球>1500/mm³、血小板>10万

R5.8.10作成
R6.12.16改訂